

☆ ボランティアさんの一言 ☆

今回は月のお話をば！

最近ネイティブアメリカンの満月の呼び名がよく取り上げられます。でも、極東の島国では関係のない命名でピンときません。(＞_＜)

日本ではそれぞれの満ち欠けに呼び名をつけて観月を楽しんでいました。十三夜月⇒小満月⇒十五夜の月⇒十六夜月⇒立待月などなど。(このあと待つ姿勢にまつわる命名が続きます)是非、ご自分で調べて観月気分を盛り上げてくださいませ。(^-)-☆

今は明け方に惑星(遊星)も明るくにぎやかです。

ではまた、皆様と星空を共有できますように！

(ちょこっつより)

開館時間：15：00～21：30

☆ 5月の見頃の時間は19：30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



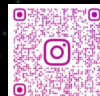
Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台

新Webになりました！



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉渕町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2022★5月の星空

だんだんと夜間も温かくなってきました。(といっ
てもまだまだ一枚上着は必要ですが) 夜空も春から夏
にかけての空が進んできます。星団と色の違う二重星
が美しい【かに座】、わかりやすい星の並びと金色の
二重星を持つ【しし座】、銀河団と全天2位の大きさ
を持つ【おとめ座】が皆さんをお出迎えしますよ！



今月の星座

北

西

東

南



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【しし座】【おとめ座】が見ごろになります。【てんびん座】も東の空に昇ってきますが、【おとめ座】は全天で2番目の大きさ。夜空を進むには時間がかかり、次の【てんびん座】が見やすい位置に来るのは初夏になってしまいます。その前の【かに座】の方が見やすいかもしれません。また、春は『ししの大鎌』、『春の大曲線』、『春の大三角』が星の並びで作れます。さっそく探してみましょう！

星空トピックス『電子観望』

前回のトピックスでは、実際に望遠鏡を自分の目で覗いて天体を観測する“眼視”の感動と、写真撮影などで人間の眼には見えにくい淡い天体をカメラのセンサーなどで読み取ってコンピューターのディスプレイで見る“電視”の話をしました。今回は“電視”についてです！

◇ 技術の発展を感じる瞬間

電子のメリットは何といってもその鮮やかさ。肉眼ではほとんど見えない赤い星雲や、銀河の渦がはっきりと映ります。まさに“リアルタイムで見る図鑑”といったところです。アンドロメダ銀河やオリオン大星雲のような明るい天体は肉眼でも見やすいですが、銀河の渦や赤いガスの部分までは、ほとんど見えません。なおかつディスプレイに映るので、小さなお子さまを含め家族全員でご覧いただけるメリットがあります。また、望遠鏡を覗かなくても楽しめるので片目で覗くのが苦手な方でも天体観測が可能です。まさに望遠鏡や観望技術の発展の賜物ですね。そんないいことづくしの電子観望ですが、専用のカメラを用意したり、ディスプレイの明かりが星空に影響しないように配慮したりする必要があります。そのため当館では、月明かりが眩しい時など電子観望が有効な夜を判断して行っています。皆さんもぜひ、電子観望と眼視の両方で見比べてみてくださいね！

いっかくじゅう座のバラ星雲⇒

眼視では中心にたまたまある星団がかろうじて見えますが、電視にするとくっきりと花びらのような星雲が現れます。

